

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 24 No 1

270号

平成27年 1月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして
おめでと
ございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年を迎えて-2016-

院長

毎年恒例となっていた「新しい年に向けて」はここ2年ばかりお休みしてきました。久しぶりに「新しい年に向けて」と題して昨年を振り返ってみます。

まず最も大きな出来事は、やはり“第25回日本外来小児科学会年次集会”でしょう。仙台開催は13年ぶりで、8月川内萩ホールと北キャンパスを会場として開催しました。メインテーマは「未来を担う子どもたちのために-小児科医に託されるもの-」で、テーマの決定には長年取り組んできた子育て支援活動、さらには東日本大震災が大きな動機となりました。特に震災関連プログラムは、目で見える・耳に聞こえる・そして肌で感じられるよう、被災地視察・シンポジウム・震災写真パネル展示・震災映画上映等で充実を図りました。そして最も力を入れたのは会長講演で、学会初めての試みとしてスティーブ・ジョブズの真似をして、ヘッドセットを装着して壇上を動きながら行いました。自己顕示欲が強く目立ちたがり屋としても十分満足のいくものでした。細かいこと書いたらキリがないので、興味のある方は「学会大成功!!」(2014年9月号)をご覧ください。

さて、カレンダーを振り返ってみると驚きです。まずは診療以外の会議などの多さです。最高では21連チャンという新記録を樹立しました。会議はもちろんですが、何と泊まりがけの出張が22回もあり、東京がほとんどですが、大分、鹿児島と九州を2回も訪れました。遠くの出張になると金土曜日の休診となり、皆さんにはご迷惑をおかけしました。ちょっと余裕がある出張では、少しだけ楽しみもあり、湯布院、霧島温泉ではゆったりと羽を伸ばすことが

1月のお知らせ

- ・東北大学医学部学生実習
9日(金) よろしくお祈りします
- ・栄養育児相談
8、22日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料
- ・午後休診
10日(土) 市民医学講座のため



できました。皆さんに迷惑をかけた反面、一生懸命クリニックを支えてくれるスタッフにはちょっとした休みとなり感謝されています。

仙台小児科医会会長となり5年目、仙台市医師会理事も2年目となり、これまた会議会議の嵐です。仙台小児科医会会長となって以来、毎年ひとつは新しい事業を実現してきました。昨年は“3歳児カリエスフリープロジェクト”(虫歯予防)として、“せんだいでんたるノート”、虫歯予防パンフレットの配布が始まりました。さらには難聴の早期発見を目的にした問診項目を1歳6ヶ月健診に加えること、さらには虐待に関する取り組みとして問診票改訂と収集方法の変更を予定しています。毎年必ずプロダクト(成果)を作っていくという会長としての考えが、実現できていることはとてもうれしいことです。実現できた取り組みは、子どもたちのためになる確信しています。医師会では健診、予防接種、「こども医学講座」など子ども関連を担当し、理事として最も多くの内外の委員会に属し多くの会議に出席しています。ひとつ笑いを。医師会館へ足を多く運ぶ機会が多く、警備員さんとも顔見知りになりました。連続した会議最終日、笑顔で“お帰りなさい”と声をかけられたのは全ての証でしょう。医師会では障害者の小児科とは関係ない障害者の差別解消にもかかわっています。本年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、仙台市では“差別解消に関する条例”制定をします。仙台市障害者施策推進協議会は毎回論議がかなり難航し、4~12月までの間に13回の会議が開かれました。今まで小児医療で経験したことを中心に会議に協力しています。ひとつ辛いことは夕食が取れずに参加し、時には22時近い夕食となってしまうことです。長くて回数も多い会議ですが、それ故学ぶことも多い会議です。

以前書いた「忙しさ自慢」と同じような内容になってしまいました。今年は日本外来小児科学会会長という役職から外れました。やっと3足の草鞋から2息になったのですが、果たして暇になるのでしょうか。忙しさの原因は他人によるものではなく、自らが作っているものです。いい加減な仕事をすれば暇になることはわかっています。それが許せないから忙しく、忙しいと思っても自分より忙しい人がいると考えるしかありません。結局頼られているだけ幸せ、忙しいうちが華なのでしょう。

さて最後になりますが、会長講演では“外部評価の重要性”を強く訴えました。学会の成功や小児科医会、医師会での活動、さらにはクリニックを続けられるのは、多くの人たちの“外部評価”のお陰です。出来の悪い小児科医が壇上で自慢話のできたのも、多くの皆さんの評価と支えがあったからこそ成し遂げられたものです。年次集会という一生に一度の経験をさせていただいたことをひとつの節目と考え、支えてくださった多くの人たち感謝の意を示し、これからも精進したいと思っています。これからも、どうぞよろしくお祈りいたします。

『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

あけまして おめでとう ございます

去年は新しいスタッフを迎えて、人の振り見て我が振り直せ!!言葉の如く、自分を振り返る良い年になりました!!また、かわむら先生が会長をされた学会では、大役を任せ不安でしたが、多くの人に助けられ無事終了し、感謝、感謝の一年でした。今年も気を引き締めて、笑顔を忘れず努めたいと思います。今年も年女!!きゃ〜一番自分がビックリです。看護師長中米由美子

去年は、新しいスタッフが入ったり仙台で学会があったりと大きな出来事があった年でした。その中で経験できたこと学んだことを今年も少しでも生かしていきたいと思います。事務 福地 あさか

クリニックにきて早1年、数え切れないほど失敗しましたが、その分たくさんの事を学びました。去年以上に、元気に明るく頑張ります!事務 瀬川 里奈

去年は、日本外来小児科学会という大規模な学会にスタッフとして参加して、多くの事を学ばせていただきました。この貴重な体験を、仕事の中に活かしていきたいです!!看護師 佐藤 陽子

読者の広場

先月は13通のメールと年末にとっても心温まる手紙をいただきました。やはり年の瀬となるといろいろな思いが巡ってしまうのでしょうか。まずはクリスマス会の感想を青葉区の宮崎さんから、「こんにちは。昨日のクリスマス会は、とっても楽しかったです。ありがとうございました。クリスマスプレゼントも、まさかあんなにいただけるとは、予想もしていなかったのでビックリしてしまいました。手作りのメッセージカード、クリスマスリースはスタッフの皆さんが忙しい中、心を込めて作ってくれたんだなあと温かさを感じました。早速、飾っています。今までの私は、あまり人との関わりが苦手でした。でも、碧土が生まれてからは、これまでの自分とサヨナラして積極的にいろいろな場に参加してみようと思います。子供のパワーは、本当に心強いです。これから、ハイハイしたり、歩いたり…と楽しみながら成長を見守り続けていきたいと思います。私も一緒に一歩ずつ成長していきたいです。」続いては区の後藤さんから、「私たち親子は2回目の参加です。前は上の子が1歳になる前で、一緒に座って歌や踊りを見ていました。今回は上の子ももうすぐ4歳!私から離れて前の方へ行き、ノリノリで踊ってました♪サンタさんとの記念写真も泣かずに撮れて良かったです。そして、たくさんのプレゼントをいただき、ありがとうございました。私にまでプレゼントがあり、とても嬉しかったです。手作りのクリスマスリース、さっそく家に飾りました!私自身、思うようにならず、イライラしたり子どもを叱ってしまうことも多い毎日ですが、あらためて子どもの成長を感じ、親子共々楽しい時間を過ごすことができました。お忙しい中、ステキなクリスマス会を開いてくださりありがとうございました。」参加ありがとうございます。クリスマス会の開催目的は、子育てでに苦勞しているお母さんたちへのクリニックからのプレゼントです。そのためスタッフも仕事の合間を縫って準備をしてくれました。クリニックの想いがちゃんと伝わり、院長としても安心しました。昨年参加できなかった人は、今年こそ是非参加してください。クリスマス会の模様は待合室に掲示してあります。サンタさんとの記念写真もさし上げます。



続いては区のお〇〇さんからのうれしいメールです。「かわむら先生今年残りわずかになりましたが先生にお礼を伝えたくて手紙を書きました。娘が生まれて初めてかわむらクリニックへ伺った時に聴覚障害者である私達夫婦をかわむら先生をはじめ院長さん、ナースさんたちの筆談や口話などあたたかく扱って下さり和らぐことが出来、こうして娘はここまで病気もあまりなく丈夫に育つ事ができました。今娘は18才になり「小児科から内科医に行ってもいいじゃない?」と言われました。(笑)娘が生まれた時から18年間本当にお世話になり本当にありがとうございました。娘はこれから大人の入り口に入り健康など見守って行きたいと思います。かわむら先生のご健康をお祈りしつつ、取り急ぎお礼申し上げます。(近況)娘、東北福祉大学に合格しました!。今でも当時を思い出します。ご両親とも聴覚障害があり、説明が大変でした。わざわざ感謝の思いを伝えてくれた事が、理念「お母さんの不安・心配の解消」の証だと思っています。途中からはお子さんが代わりに説明を受けるようになり、その姿を見ながら育つためか福祉系大学に進学することを決めようです。手紙の内容と進路を聞いて、胸が熱くなるのを覚えました。

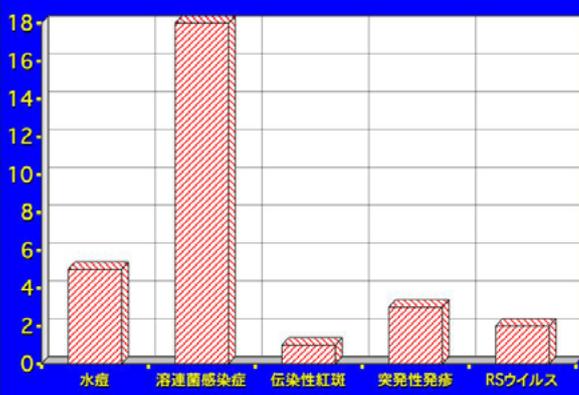
今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。院長・スタッフ一同

年賀状

ありがとうございました

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。院長・スタッフ一同

12月の感染症の集計



全国的な傾向として溶連菌感染症が前月の2倍に増加しています。しばらく鳴りを潜めていた水痘が増加を示しています。グラフには示していませんが、感染性胃腸炎も多くみられています。不思議な事にインフルエンザの流行は無く、1月2日の当番医でもインフルエンザ患者さんはいませんでした。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、550人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

その他の情報発信としてFacebook ページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBを見てください。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews

Facebook

編集後記

去年は人生で最も大きな、そして二度と経験できないような全国学会の会長を務めることができました。多くの方々の参加をいただき盛況のうちに終える事ができました。医師だけでなく、様々な領域の大勢の方のお力添えをいただきました。このような大きな支えに対して、これから少しずつお返しをしていかなければならないと感じています。もちろん休診等でご迷惑をお掛けした皆さんにも。今年も、どうぞよろしくお願ひします。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!